

質の高い公共サービスの提供や投資効果の効率化が求められる中、社会インフラの整備・運用・維持管理といった公共サービスの提供など、これまで行政機関のみが担ってきた役割が、民間委託、PFIなどの官民連携に変化しつつあります。今年度の都市計画研究会では、「官民連携」をテーマとして3回シリーズでまちづくりにおける公共と民間の連携・役割分担の現状と課題を検討しています。

このたびの第3回は、第1回の法制度上の「都市機能集約」、第2回の民間プロジェクト事例報告を含む「官民連携事業の新潮流と今後の公共サービス」に続き、研究者でもあり東京丸ノ内、大阪うめ北、名古屋駅前地区などのエリアマネジメント活動を進めている東京都市大学小林重敬教授をお迎えして、官民連携の事例をもとに運営上の諸課題についてお話を頂きます。

日時：2015年2月21日（土）15:00～17:00

場所：広島YMCA国際文化センター多目的ホール

（広島市中区八丁堀7-11 /082-227-6816）

講演者：小林重敬氏（東京都市大学都市生活学部教授）

第3回講演テーマ：「（仮題）街を育てるエリアマネジメント

～官民連携により街に”新しい地域価値”を育てる～」

参加費：無料

参加申込先：渡邊一成（福山市立大学内）E-mail: kz-watanabe@fcu.ac.jp

※資料準備のため、申込みメールをください。2月13日（金）まで。一般参加可能【記載する事項】お名前、所属等、連絡先（電話番号、E-mail等）

【講師のプロフィール】 小林重敬（こばやし しげのり）氏

○略歴

東京大学大学院工学研究科博士課程都市工学専攻修了。工学博士。

横浜国立大学大学院教授、日本学術会議連携会員、日本女子大学講師、規制改革委員会参与、参議院国土交通委員会客員研究員などを歴任。現在東京都市大学教授、横浜国立大学名誉教授、全国市街地再開発協会理事長を兼任。

これまで国土交通省等の多くの審議会に参加し、都市政策、住宅政策、土地政策、国土政策などの政策づくりに関与、また東京の都市ビジョン、住宅マスタープランづくり、横浜のMM21の開発、都心部のまちづくり方針、横浜駅周辺地区大改造計画など、さらに地方都市の高松市、長浜市などの中心市街地活性化に参画。大丸有エリアマネジメント協会理事長、神田淡路町地区街づくり協議会顧問などエリアマネジメント活動を実践。

○著書

「協議型まちづくり」（学芸出版社）、「地方分権時代のまちづくり条例」（学芸出版社）、「条例による総合的まちづくり」（学芸出版社）、「欧米のまちづくり・都市計画制度」（ぎょうせい）、「エリアマネジメント」（学芸出版社）、「コンバージョン・SOHOによる地域再生」（学芸出版社）、「都市計画はどう変わるか」（学芸出版社）など。



東京都市大学HP <http://toshiseikatsu-gakubu.jp/staff/> 等より作成

主催：公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部

事務局：広島市西区楠木町1丁目14-10-202 地域計画工房内 担当：企画・研究委員会

共催：一般社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部

後援：広島市、公益社団法人日本技術士会中国本部